


2014年度 なごや歴まちフォローアップ講座第3回 状況記録

	日時	平成 27 年 3 月 1 日 (日)	14:00~16:00
	場所	ウイंकあいち・愛知県立大学サテライトキャンパス 15階-15D 室	
	講師	渡邊義孝 (わたなべよしただ) 氏	
	出席者	歴まちびと 26 名、一般 18 名、名古屋市 1 名、公社 3 名 (合計 48 名)	

1 開会 14:00~14:10 司会の鈴木委員長より開会の挨拶と講師の紹介により開会となる。

2 講演：渡邊義孝 (NPO 尾道空き家再生プロジェクト理事) 14:10~15:40

空き家再生は「建物の魅力発見」から ー尾道の試みの教訓を語るー

講座内容

- ・渡邊氏の講演はメインテーマである「尾道の空き家再生は建物の魅力発見から」の言葉から始まる。それはまさに尾道の魅力にほかならない。海のある坂と寺のまちである尾道は観光、映画のまちでもある。
- ・尾道、空き家再生の原点は、地元で空き家再生に取り組む強固な意志と実行力を持った豊田雅子氏との出会いであり、ガウディハウスの実測調査であった。この洋館付き住宅の再生は登録有形文化財となり、次々と再生物件が増えていく力となった。そして、尾道空き家再生プロジェクトに進み、以来、多くの人を動かしていくことになる。この尾道空き家再生プロジェクトは建築、アート、環境、観光、コミュニティの各チームで活動していくことになるが、多様な専門家の参加がオシャレなまちづくりとなっている。渡邊氏の建築チームとしての活動は補助金申請による補修、改修や建築講座、市民を巻き込んだ、まちあるきツアーなど多岐に及ぶ。
- ・空き家再生には空き家バンクの活動が欠かせないが課題も多く、空き家情報の提供や改修のための補助金申請、移住の相談などにも応じている。渡邊氏の大学での役割も大きく、建物の絵を描き、マップを作り、まちの魅力を再認識することもまた重要で今後も続くことになる。



講義風景

3 意見交換 15:45~16:45 (延長)

- ・再生・活用という、歴まちびとの会にとっては大変有意義な講義だったので、渡邊氏に質問が集中したが、其々に丁寧な受け答えを頂いて、ただ感謝しかない。活発な意見交換もあり、やがて、質疑・意見交換はいつしか1時間を超えていった。

4 閉会 16:45

- ・歴まちびとの会会長：野村昭男のお礼の挨拶で終了する。鈴木委員長には長時間、お疲れ様でした。